

旬の人

五郎丸 歩さん

ラグビー選手

昨年、ラグビーワールドカップでの活躍で時の人となった五郎丸歩さん。ラグビー後進国と揶揄されてきた日本の屈辱を晴らすとともに、国内のラグビーファンを急増させた功績は計り知れない。

五郎丸さんは19歳で日本代表に選出されるなど、早くから日本ラグビー界のホープとして期待されてきた。しかし2011年のW杯では一度代表に招集されながら土壇場で落選。2012年の代表復帰後も欧州の強豪に金星をあげるも「勝てたのは代表に外国人選手が大勢いたから」と評され、悔しい思いをしている。そんな体験をバネにエディ・ジョーンズ監督の厳しい練習に耐え、昨年のW杯における「スポーツ史上最大の番狂わせ」へつながる。「あの練習をもう一度やれと言われても無理。それほど心身ともに負荷のかかったトレーニングを乗り越えたからこそ絶対に結果を残したいと思いました」と五郎丸さんは語る。

時の人となっても五郎丸さんは自然体を貫く。住まいのある磐田市ではラフな服装で家族と過ごし、休日は大好きな釣りをするために浜名湖や沼津へ出かけている。もちろんラグビーへの思いも依然として熱い。今年から豪州クイーンズランド・レッズの一員として国際リーグ戦「スーパーラグビー」に参戦。2019年のW杯日本大会も控え「新たなチャレンジを楽しみたい」と語る。

日々挑戦を続ける五郎丸さんの歩みは日本のラグビーが進化する道と重なっている。

日々の努力が夢への近道です。



昨年のW杯大会でキックする五郎丸選手。精神を集中するために行うルーティンワークは世界中の人が知ることになった。

五郎丸歩(ごろうまる・あゆむ)
1986年福岡市生まれ。3歳の時、両親の影響でラグビーを始める。佐賀工業高校時代に3年連続で花園出場。進学先の早稲田大学では1年目からレギュラーに定着。2008年にトップリーグのヤマハ発動機ジュビロに入団し、以来同リーグの得点王、ベストキッカー、ベスト15などのタイトルを毎年獲得している。身長185cm、体重100kg、ポジションはFB(フルバック)。静岡県磐田市在住。